

Seifunankai Gakuen

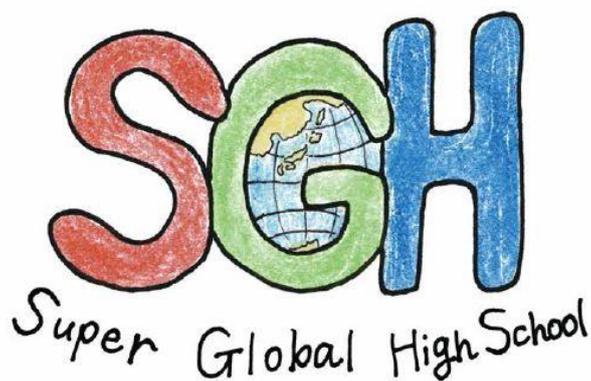
SEIFUNANKAI GAKUEN

清風南海高等学校

平成 27 年度 第 1 回

SGH 中間発表会

〈資料〉



Think Global

Strength Reverence Honor

平成 27 年 9 月 5 日

—目次—

	ページ
ご挨拶	1
1. 本校 SGH 事業について	2～3
①本校 SGH 構想の概要	
②「シナリオプランニング (SP)」について	
2. 報告	
①オリエンテーション・G-Mission	4～5
②講演会・特別授業	6～7
③Field Work (フィールドワーク)	8～9
④PEST ゼミ Political (政治学的分野)	10～15
「国連弁当」に関する決議案	
⑤PEST ゼミ Societal (社会学的分野)	16～17
⑥Global English (グローバル・イングリッシュ)	18～19
3. 今後の事業展開について	20
運営指導委員一覧・連携先一覧	21



ご挨拶

清風南海高等学校
SGH プロジェクトチーム

本日は、清風南海高等学校 SGH(スーパー・グローバル・ハイスクール)第 1 回中間発表会にお越しいただき、ありがとうございました。

本校では、社会の急速な「グローバル化」の進行に対応し、将来様々な分野で活躍することができるグローバルリーダー育成をめざして、平成 27 年度より高等学校に「グローバルコース」を設置する予定で準備を進めて参りました。一方、文部科学省でも同様の考え方から、現代社会の抱える課題に関心を持ち、深い知識と教養を備え、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的素養を身に付けるため、質の高いカリキュラムを開発・実践する高等学校等を「スーパー・グローバル・ハイスクール(SGH)」に指定しております。

このたび、本校ではこの「スーパー・グローバル・ハイスクール」に応募しましたところ、3 月に指定の通知を受け、研究開発を開始することとなりました。なお、「スーパー・グローバル・ハイスクール」には、平成 26 年度は 56 校 (応募 246 校)、平成 27 年度は 56 校 (応募 190 校) が指定を受けており、その指定期間は 5 年間となっております。

本日は、「スーパー・グローバル・ハイスクール (SGH)」指定初年度の「グローバルコース」1 期生である 1 年生 2 クラスの生徒による中間発表会を開催いたします。本校の SGH 構想についての説明、および、1 学期に取り組んだ内容についての報告を予定しております。なにぶん生徒にとりましても初めての発表の機会であり、未完成・未熟な点多々あるかと存じますが、忌憚のないご意見・ご感想をいただければ、将来の生徒の成長につながる素晴らしい経験になるものと期待しております。

今後とも、本校 SGH の取り組みにつきましては、各方面関係者の皆様の多大なるご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



1. 本校 SGH 事業について

① 本校 SGH 構想の概要

- 「未来を読み解く力」と「世界に発信する力」を身につけるための教育システムの開発を目的とする。
- 生徒による「シナリオプランニング (SP)」を用いた未来予測を研究開発のテーマとし、学習教材としての体系化を図る。また、その研究成果を効果的に発表するための力、情報処理の力を身につける。
- 「シナリオプランニング (SP)」とは、ロイヤル・ダッチ・シェル社が用いた未来予測の手法で、複数の「起こりうる未来のシナリオ」を論理的に創り上げ、多様な未来の可能性を考えることで、より望ましい未来への道筋を模索しようという方法論である。
- そのためには、教科教育の枠を超えた知識や分析力が必要となるので、Political, Economic, Societal, Technological の 4 つのゼミ (PEST ゼミ) を開講して専門的な知識や考え方等を習得する。
- 国内外のフィールドワークを積極的に行い、国内外の高校・大学・企業・地方公共団体等と協働してシナリオ・プランニング (SP) を行うとともに、教材の普及とネットワークの構築を図る。

② 「シナリオプランニング (SP)」について

「地球規模の視野を持って世界のあり得べき未来図を描き、社会をより良い方向に導いていく人材」と定義したグローバル・リーダー育成をめざし、ビジネス手法「シナリオ・プランニング (以下 SP)」を学習教材として体系化する。

テーマとしては、「SP を用いて未来のエネルギー事情を考える」とし、年に 2 回中間発表会を行い、高校 3 年次には市のホールを使用して研究発表を行う予定である。

各学年では、週 2 時間の総合的な学習の時間を用いて以下のような内容を実施する。

高校 1 年次：『PEST ゼミ (基礎)』『GE』『PIT』

高校 2 年次：『SP』『PEST ゼミ』『GE』

高校 3 年次：『SP』『GE』

注 『PEST ゼミ』：SP に必要な経済・政治・社会・技術等各分野の知識・分析力開発の講座

『GE』：グローバル・イングリッシュ講座

『PIT』：情報処理能力向上の授業

なお、外部の専門機関 (大学、企業、地方公共団体等) や高校と連携し、協働して SP の演習を行うとともに、国内外のフィールドワークも積極的に行う。

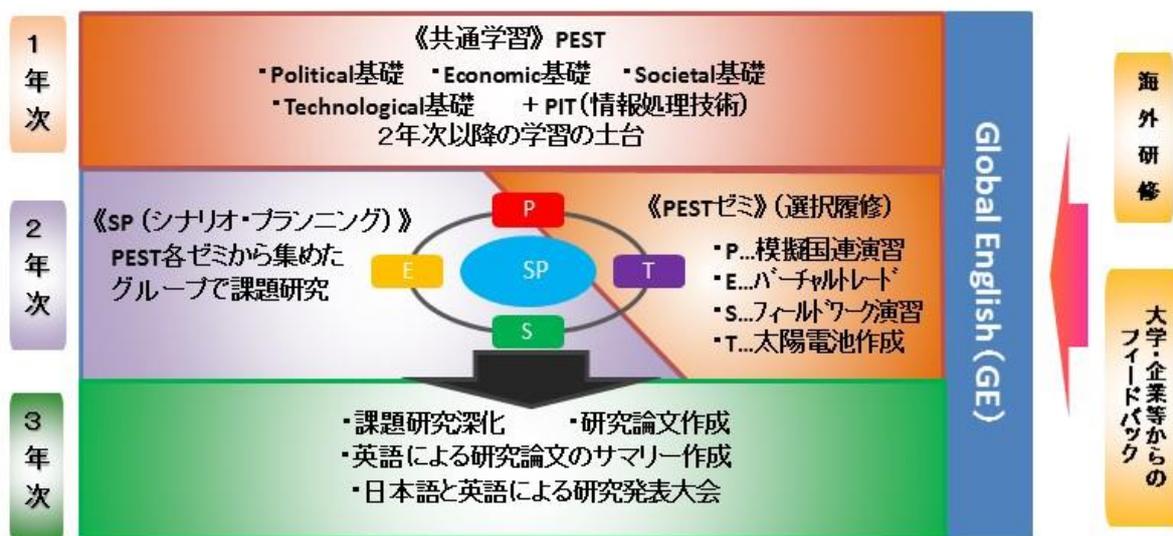


Seifunankai Gakuen

清風南海学園 SGH(スーパー・グローバル・ハイスクール)

エネルギーの観点から世界の改革を図る！
—Scenario Planning(シナリオ・プランニング)による—
 未来を創造する産官学グローバルネットワーク構想

- | | |
|---|---|
| 中学校
<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な学習習慣 ・論理的に考える力 ・聞く力 ・話す力 | リーダーとしての素養の獲得
<ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力 ・自利利他的精神 ・日本文化に裏付けられた <i>アイデンティティ</i> |
|---|---|



「未来を読み解く力」
 課題発見能力
 情報収集・処理能力
 幅広い視野と深い洞察力

「世界に発信する力」
 コミュニケーション能力 プレゼンテーション能力
 日本語と英語でロジックとレトリックの
 両方を駆使した会話ができる能力

連携・協力・支援
 ・姉妹校Brisbane Grammar School
 ・京都大学、大阪大学、関西学院大学
 ・産業技術総合研究所、JAXA など

目指すグローバルリーダー像
 「未来を読み解く力」と「世界に発信する力」
 を兼ね備えた、地球規模の視野を持って世界
 のあり得べき未来図を描く、社会をより良い
 方向に導いていく者。



成果の普及
 ・研究会の実施
 ・成果をHPで公開
 ・成果報告書の開示
 ・シンポジウムの開催
 ・研究内容のテキスト化
 ・他のSGH研究校との交流
 ・SP教材の開発

2. 報告

① オリエンテーション・G-Mission

【意義・ねらい】

- ・総合的な学習の時間の雰囲気を体感する。
- ・グローバルコース生としての自覚を持たせる。
- ・ブレインストーミングの方法を意識付けする。
- ・パソコンの使用やネットワークを用いた課題の提出に慣れる。
- ・宿題とは異なる「Mission」への耐性を付ける。

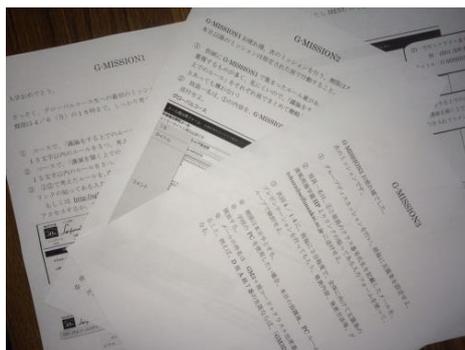
『議論をする上でのルール五箇条』『講演を聞く上でのルール五箇条』を班毎に考えて発表せよ。」という課題でディスカッションを行った。

生徒達は新コースということで、どういった内容の授業が行われるのか不安を抱えており、それを払拭するのが一番の目的であった。

課題については出来るだけ根本的なものを、今後役に立つものを、と考えて設定した。

【授業の流れ】

		教員準備	生徒の動き
入学式	G-Mission1 配布		生徒それぞれで五箇条を考え、メールで教員に送る
		班毎に各生徒の案を一覧表にする	
総合第1回	G-Mission2 配布		一覧表にしたものから重複した内容を削る
		重複したものを削除した一覧表作成	
総合第2回	G-Mission3 配布		ディスカッションして五箇条を作成する
		定まった五箇条を発表用にパワーポイントにまとめる	
総合第2回			班毎に発表を行い、投票を行う
		最多得票の五箇条案を教室に掲示	



【最多得票作品】

【講演拝聴の五箇条】

- 一、講演者の経歴などを調べるべし。
- 一、失礼のないようにすべし。
- 一、講演中メモをとり、質問すべし。
- 一、講演内容と意見をまとめるべし。
- 一、懐疑的な姿勢をもつべし。

【議論実施の五箇条】

- 一、礼儀を守るべし。
- 一、自分の意見を正確に持つべし。
- 一、簡潔かつ論理的に議論すべし。
- 一、一人一人の意見を尊重すべし。
- 一、視野を広げるべし。

【生徒の感想】

初めてのグローバルの授業でどんなことをするのかと少し緊張していましたが、先生の話が始まるともっとリラックスしていっぱい発言もしようと思いました。普段あまり喋ったことのない人との話し合いでしたが、積極的に参加できたと思います。

先生が、最後におっしゃった、「今、議論してたけど、自分たちが決めた『講義を聴く上での五箇条』意識してた？」という言葉聞いて、はっ、としました。今決めたのに、全く意識してなかったなと思いました。そして、自分で、次はこれを意識しつつ、議論をするためには、どうすべきか？それを考えてみたいと思いました。

【講評】

《良かった点》

- ・授業の雰囲気慣れ、総合の授業を楽しむようになってくれた。
- ・議論の仕方や課題の提出など、学習を進める上での約束事を身につけてくれた。

《反省点》

「ねらい」は十分に果たせており、オリエンテーションとしては成功であったと思われる。強いて反省点を挙げるとするならば、グループウェア導入との時期的なズレもあり、メールで課題を提出させていたが、件名や送付者名等々の約束事において不備が多く、処理が煩雑になったことである。「情報教育との関連性を考える必要はあると思われる。

② 講演会・特別授業

本校に講師の先生をお招きし、グローバルコース生全員を対象に、講演や特別授業（ワークショップ形式）を行っていただきました

1. Political

講師：関西学院大学 国際学部 吉村 祥子 教授

日時：平成27年5月15日（金）15：20～16：10

内容：①吉村先生より、平和や人権に関する講演を行っていただく。

②グループに分かれ、各チームに与えられた事例が、「児童権利条約」のどの条項に抵触しているかを考える。その後、その問題を解決するための方策を考え、その方策を実行する際の課題とその課題の解決策も考える。

③グループで話し合った内容について、発表を行う。



2. Societal

講師：関西学院大学 社会学部 村田 泰子 准教授

日時：平成27年6月29日（月）15：20～16：10

内容：①我々は、自分、あるいは他人の行動を性別によって規定してしまう傾向にあることを講演していただく。

②家族社会学・ジェンダー論の位置づけなどについて解説していただく。

③講演の中で、生徒に意見を聞きながら「感情労働」等の問題について考察する機会を適宜設けていただく。



3. グローバルリーダーとして持つべき力（安全保障について考える）

講師：IGS株式会社代表取締役社長 福原 正大 氏

日時：平成27年7月23日（木）14:00～15:45

内容：①ゲーム理論についての説明とペアワークショップ活動。

②一国の首相として集団的自衛権や外交について考え、意見を発表。

③海外大学に進学する学生から、勉強法などについての質疑応答。



○教職員研修

講師：昭和シェル石油株式会社 チーフエコノミスト 角和 昌浩氏

日時：平成27年5月29日（金）15:20～19:10

対象：本校SGH担当教諭12名

内容：シナリオ・プランニングについての基本的な手法について講演をしていただいたのち、3グループに分かれ、角和氏の指導のもと実際にシナリオ・プランニングを行った。活動中にも、適宜全体に対して要点の解説を行っていただいた。約4時間にも及ぶ研修活動であったが、悪戦苦闘しながらも、和やかな雰囲気の中で、時間を忘れさせるほどの充実した内容であった。



③ Field Work (フィールドワーク)

1. グローバルリーダーのための思考法ワークショップ

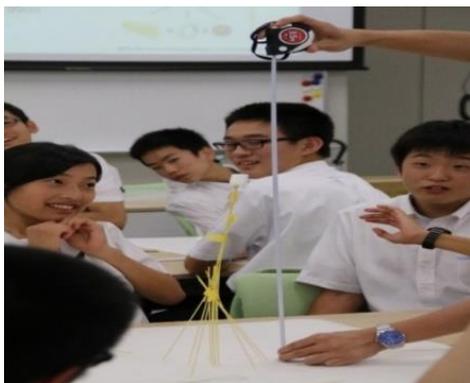
講師：立命館大学大学院 テクノロジーマネジメント科 湊 宣明 准教授

日時：平成27年7月11日(土) 14:00~17:00

場所：立命館大学 いばらきキャンパス

参加者：高校1年 グローバルコース生全員(78名)

内容：①マシュマロチャレンジ(パスタとテープ、ヒモだけでマシュマロの乗った塔を建てる)
②発散型思考法(ブレインストーミング法)と収束型思考法(親和図法)
③論理的プレゼンテーションとは(論理のピラミッド構造を作る)



2. Societal

講師：関西学院大学 社会学部 村田 泰子 准教授

日時：平成27年7月14日(火) 9:30~12:00

場所：関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス

参加者：高校1年 グローバルコース生(20名)

内容：①日本人海外留学経験者の話をもとに、ジェンダーという問題についての考察
②中国人留学生から、中国での子育てや女性の労働環境についての説明
③3つのグループに分かれて、中国人留学生に質問・意見交換後、議論内容の発表



3. Political

講師：関西学院大学 国際学部 吉村 祥子 教授

日時：平成27年7月14日（火） 14:00～16:30

場所：関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス

参加者：高校1年 グローバルコース生（20名）

内容：①本校生徒による、「国連弃当決議案」のプレゼンテーション
②そのプレゼンテーションに対し、吉村先生と大学生からのアドバイス
③吉村先生による、国連やその他に関する基礎的な知識についての講義



4. Technological

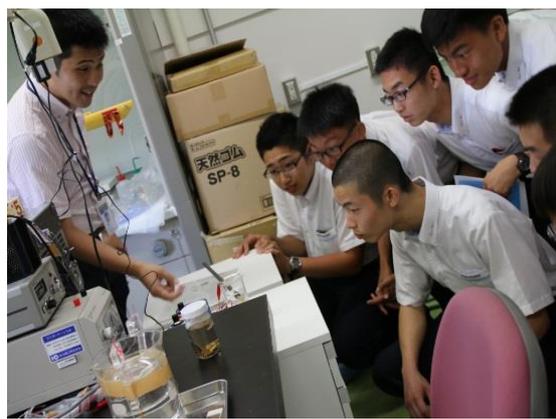
講師：産業技術総合研究所 関西センター イノベーションコーディネーター 齋藤 俊幸 氏
研究員 堀内 哲也 氏

日時：平成27年7月21日（火） 14:00～16:30

場所：産業技術総合研究所 関西センター

参加者：高校1年 グローバルコース生（20名）

内容：①施設内見学と設備や研究内容の解説
②ブレインストーミング法を用いた柔軟な発想法のコツを伝授（グループワーク）
③産業技術総合研究所と関西センターについての説明



④ PEST ゼミ Political (政治学的分野)

【意義・ねらい】

- ・プレゼンテーション能力や表現力、交渉力を高める。
- ・自国や他国への関心を高める。
- ・課題発見、問題解決能力を養う。
- ・法令等の読解による専門知識を身に付ける。

「模擬国連」では自らの担当する国の課題を探り出し、解決のための決議案を考える。そしてそれが決議となるよう、他の国から理解が得られるよう説明し、折衝する。この取り組みを通して生徒たちは、政治とは「最大多数の最大幸福」を実現するものであると実感し、自国だけの利益にとらわれてはいけないということに気づくはずである。この自己にとらわれず多様性を認める姿勢こそ、生徒たちが政治を学ぶことを通じて身につけるべきものである。

「模擬国連」参加に向けた導入として、高校1年生の授業では、「国連弁当」を教材にした。「国連弁当」とは、もちろん架空のものであるが、国連会議の場において世界中の参加国が会議の合間に同じ弁当を食べるとすると、どのようなものがふさわしいかを考えるというものである。生徒たちは4～5名ずつのグループに分かれ、担当国を決定し、政治・宗教・文化などに配慮しながら、それぞれの国が提案する決議案を作成した。

【授業の流れ】

1回目	授業ガイダンス、模擬国連の紹介
2回目	担当国決定
3回目	「国連弁当に関する決議案」作成
4回目	「国連弁当に関する決議案」作成、発表の準備
5回目	各グループの決議案発表
6回目	他国の決議案の改善点を考え、交渉する
7回目	決議案を完成させる



【生徒の感想】

今日はPの最後のゼミがありました。今回は各班から厳しく指摘を受けた決議案の改正をしました。改めて自分たちの決議案を見ると「こうすればよかったなあ」とか、「こういうふうに言えばよかったなあ」とか後悔と反省は山ほどあるのですが、まずは期末テストをのりきって、改正案をじっくり考えたいなあと思います。

他の班からの改善案を受け取り、最終的な案の作成に取り掛かりました。他の班からの客観的な意見はとても参考になりました。そしてどんな場面においても客観的な視点が重要だと思いました。

今回は前回の続きで他班と欠点や質問点を書いた紙を交換しました。また残りの時間で決議案の修正をしました。一学期をかけて作ってきた物をやっとなし完成させることとなります。色々欠点もあったのでちゃんと班員で集まり、訂正案を練りたいと思います。テスト後の提出日までにもっといい物に仕上げられたらいいなと思います。



【講評】

《良かった点》

- ・どの生徒も終始、意欲的・積極的に取り組んでいた。
- ・パワーポイントなどを使用し、プレゼンテーションを行うことに慣れてきた。
- ・他の教科やクラスの決め事の際にも、活発な議論が行えるようになってきた。

《反省点》

- ・決議案作成にはかなりの時間を要し、授業以外の時間の負担が重かったように思う。
- ・「調べる」ということに不慣れな生徒が多く、日本国内の一部のホームページで調べて満足している者が多かった。
- ・まとめや発表の時期が定期考査と重なり、生徒たちにとっては負担をかけるものになった。
- ・生徒たちが校内でパソコンを用い、相談できるような活動場所が十分に確保できていなかった。

「国連弁当」に関する決議案

スイス連邦

前文

この国連弁当は、三つの目的で行われるよう、スイスは提案する。一つ目は、国家間の交流を深めること。各国の代表が、共に同じものを食べるという、めったにない機会を作り出し、食事中に弁当について話すなど、普段の緊張感のある国家間の交流を和やかなものとする。二つ目は、各国の新たな経済効果をうながすこと。国連という場で、存在感をあまり発揮できないような発展途上国が、自国の特産物を食べてもらい知ってもらうことで、新たに貿易関係を生み出すことだけでなく、某国に無かったものが、貿易をすることで手にすることが出来、普及することが可能となる。また、国連弁当の機会を重ねるごとに沢山の国が自国をアピールすることができ、世界全体がつながりやすく、貿易しやすい環境にする。三つ目は、食を囲み楽しむ風習を再確認すること。様々な宗教の国が集まる国連では、食の作法が異なるはずである。しかし、食事とは命の根源にあるもので、そのありがたみは全人類に共通するものである。食文化の違いを理解しようと努め、また、食事ができることに感謝するという考え方や価値観を共有することで、協調性を持った国連活動を促進し、ひいては平和な世界を作るきっかけとする。

主文

- (1) 食器は様々な宗教や文化に対応するためにフォーク、スプーン、お箸を用意する。国連弁当の中身をいれる容器は二つ用意する。一つは、デザート以外を入れるもので、直径 15cm 程度の円形で二段のものとし、材質はキルギス産の高級家具などに使われた木材の切れ端を使用する。木には、調湿効果、防腐効果があるため、食べる時間が遅くなくても、おいしく食べられる。また何度も使用可能なのでゴミの削減につながり、これから先も国連弁当の機会を設けるきっかけとする。容器には、木のおいが食材に移らないよう樹脂でコーティングする。同じ材質のフォーク、スプーン、お箸を使用する。もう一つの容器は、デザートを入れるもので、直径 10cm 程度の球形で、地球をモチーフとしたデザインになっており、冷蔵した後、その温度を保てるよう、金属製とする。

以下を国連弁当の中身、メニューとする。塩(ウクライナ産)、胡椒(ベトナム産)とする。

(2) 野菜のトマト煮込み

材料および生産国はトマト(イラン産)、ジャガイモ(ルワンダ産)、ニンジン(タジキスタン産)、ブロッコリー(グアテマラ産)、ナス(アゼルバイジャン産)、片栗粉(デンマーク産)、塩、胡椒である。カロリーは 280kcal、費用は一人当たり 260 円、健康への影響として、トマトの酸味が消化を助け、グルタミン酸により、食物の味を豊かにしてくれる。調理法として、手で食べる人のことを考え(その場合温度にも気をつける)、とろみをつけたスープにし具材に絡みやすくすることで、全員が同様に料理を楽しめるようにする。野菜を温めて調理するのは、沢山食べられることや、栄養を摂取しやすくなるメリットがある。

(3) 鶏肉の悪魔焼き風 (鶏肉をソイミートにすることも可)

材料および生産国は鶏肉(胸肉)(南アフリカ産)、またはソイミート(パラグアイ産)、オリーブオイル(チュニジア産)、塩、胡椒である。鶏肉の場合、カロリーは 651kcal、費用は一人当たり 300 円、健康への影響として、鶏肉(胸肉)は疲労回復に効果がある。オリーブオイルは心筋梗塞や動脈硬化の予防に効く。ソイミートの場合、カロリーは 288kcal、費用は一人当たり 70 円、健康への影響として、ソイミートは大豆を使って、繊維状にしたタンパク質を肉のように見立てた食品であるので、肉のカロリーの半分以下で、食物繊維やミネラルが豊富であるので、便秘改善に効く。国連会議においては、先入観だけで物事を決めつけるということは望ましくないので、あえて料理名だけでは見当もつかない名前の料理にする。鶏肉の悪魔焼き風とは、悪魔のような、スパイシーな味付けを比喻している料理である。事前にアンケートを取り、ベジタリアンの人にもできるだけ、同様の料理を食べてもらえるよう、ソイミートを選べるようにする。

(4) ジャム 8 種類 (全て 2 口分)

地味になりがちなお弁当に彩りを加え、また飽きずに食べてもらえるよう、様々な味のジャムをそろえる。

オレンジ色、マーマレード(モロッコ産)、54kcal、

黄色、アプリコット(ベラルーシ産)、55kcal、

赤色、イチゴ(エジプト産)、54kcal、

紫色、ブルーベリー(リトアニア産)、38kcal、

濃いピンク色、ローズ(ポーランド産)、34kcal、

薄いピンク色、ピーチ(チリ産)、30kcal、

肌色、グレープフルーツ(スーダン産)、30kcal、

茶色、イチジク(アルバニア産)、38kcal、

費用は一人当たり 328 円、健康への影響として、アプリコットはカロチンを多く含み、風邪をひきにくくし、ピーチは体を弱アルカリ性に保ち、頭の回転を速くする働きがあり、グレープフルーツはクエン酸によって、エネルギーを体内に蓄えさせることができる。

(5) パン各種

トースト半分とバターロールとフランスパンを用意する。材料および生産国は米粉パン(日本産)である。カロリーは、トースト半分が 98kcal、バターロールが 95kcal、フランスパンが 85kcal で、健康への影響として、米粉は油の吸収率が低いので、沢山食べても太りにくい。調理法として、小麦粉が禁止の宗教もあるので米粉にした。

(6) トリュフ (アルコールは入っていない)

材料および生産国はチョコレート(スイス産)である。カロリーは 166kcal、費用は一人当たり 136 円で、健康への影響として、チョコレートは疲労回復、集中力の上昇、リラックス効果と様々な効果がある。

(7) 飲み物は天然水(スイス産)とする。健康への影響として、アルプスの美しい水は、ミネラルが多く含まれている。

国連弁当を提案するうえで、一番口にする水を自国のものとしアピールする。

上記の食材は全てハラールの調理法で調理している。ハラールとは、イスラム法上で食べることが許されている食材や料理のことである。

フランス

前文

国連弁当は各国の農産物の安全性と品質の高さを宣伝するのに絶好の機会であり、国連弁当を食べる時間は自国の農産品を売り込むことが出来る時間である。それ故、以下に紹介される生産国以外の国もどんどんアピールするべきだ。

また近年、食の安全が問題になってきている。例を挙げると、禁止農薬の使用、遺伝子組み換え食品の問題、賞味期限の偽装、集団食中毒事件、等々枚挙に暇がない。食の安全への意識を各国が高めていく手段として国連弁当は必須である。

他にも議論の疲れを取り、国際情勢にかかわらず、各国の首脳たちが和やかに話せる機会作りが可能となるため、国際問題の議論がスムーズになるだろう。

結果として、このような目的を持つ国連弁当にはフランスの伝統的食文化や食材が適している。

The UN Bento provides a great opportunity for member countries to promote the quality and safety of their agricultural products. While eating UN Bento, countries can promote their own agricultural products. Therefore, a lot of countries other than those introduced below are strongly advised to advertise their own products.

Besides, food safety has been a heated issue in recent years. For example, the usage of banned pesticides, genetically modified foods, deceptive representation of food shelf life and incidents of mass food poisoning. The UN Bento is indispensable as a means for every country to develop an awareness of food safety.

In addition to the positive aspects mentioned above, the UN Bento will assist in decreasing the tensions of the participants involved in high-level discussions. It will also act as what would lead to relaxed conversations between members. This would lead to more peaceful talks when the members return to the table no matter what international situations they are faced with.

主文

国連弁当の内容はフルコース弁当とし、中に入れる食材等は以下の通りとする。

(1)前菜はポテトとアボカドのカナッペとする。

材料及びその生産国はそれぞれジャガイモ(ベラルーシ産)、アボカド(ドミニカ共和国産)、オリーブオイル(ギリシャ産)、フランスパン(フランス産)である。カロリーは 151kcal、費用は一人当たり 450 円で健康への影響としてジャガイモはビタミンC,Dが含まれており高血圧や動脈硬化の予防に効き、アボカドはビタミン、ミネラルが各種揃っている。夏バテ予防に良い。

Potato (from Algeria), avocado (from the Dominican Republic), mustard (from Canada), parsley (from Italy) and bread (from France)

124kcal 450 yen (per person)

[Health Benefits] Potato: high in vitamins C and D, effective in the prevention of high blood pressure and hardening of the arteries Vitamins and minerals are good for preventing exhaustion.

(2)スープは豆乳とカボチャのスープとする。

材料及びその生産国はかぼちゃ(エジプト産)、玉ねぎ(パキスタン産)、豆乳(日本産)、パセリ(イタリア産)である。カロリーは 133kcal、費用は一人当たり 194 円で健康への影響としてかぼちゃにはカロテン、ビタミンCが多く含まれているので免疫力増強の効果がある。また、習慣上、手で食べる人の為にパンを添えておく。

Pumpkin (from Mexico), onions (from India), soy milk (from Japan), parsley (from Italy)

133kcal 194 yen (per person)

[Health Benefits] Pumpkin: high in beta-carotene and vitamin C, boosts the immune system. It can be eaten with bread for those who customarily eat with their hands.

(3)魚料理はマグロ・アボカドの燻製サラダとする。

材料及びその生産国はマグロ(エクアドル産)、アボカド(メキシコ産)、わさび・醤油(日本産)、オリーブオイル(ギリシャ産)である。カロリーは 183kcal、費用は一人当たり 912 円で、健康への影響はマグロ、アボカドには EPA(エイコサペタエン酸)や DHA(ドコサヘキサエン酸)、ビタミンA,D,Eが含まれているので、悪玉コレステロールを減らすとともに、脳の機能を高める効果がある。また、オリーブオイルが含んでいるオルレイン酸には整腸や悪玉コレステロールの減少の効果がある、クロロフィルには美肌効果がある。

Tuna (from Philippine), avocado (from Spain), Wasabi (from Japan), olive oil (from Italy)

183kcal 957 yen (per person)

[Health Benefits] Tuna and Avocado: high in EPA (Eicosapetaen acid) and DHA (Docosahexaenoic acid), vitamins A, D and E, enhances brain function and reduces bad cholesterol. Olive oil: high in oleic acid which reduces bad cholesterol, promotes micro-organism growth and contains chlorophyll which benefits skin health.

(4)主菜はフランスパンのチキングラタン、または、フランスパンのトマトソースとする。乳製品や鶏を宗教上食べてはいけない人やアレルギーなどがある人はフランスパンのトマトソースを選択することが出来る。

フランスパンのチキングラタンの材料及びその生産国は鶏肉(ブラジル産)、しめじ(日本産)、牛乳及び生クリーム(アメリカ産)、チーズ(スイス産)、玉ねぎ(トルコ産)、フランスパン(フランス産)である。カロリーは 551kcal、費用は一人

当たり 463 円で、健康への影響は玉ねぎには高血圧や糖尿病予防という効果があり、しめじには免疫力を高める効果があるため、生活習慣病予防によい。また、鶏肉は疲労回復として少量で多くのエネルギーを得られる。

Chicken (from Brazil), mushrooms (from Japan), cow milk and fresh cream (from USA), cheese (from Switzerland), onions (from Turkey), bread (from France)

551 kcal 1127 yen (per person)

[Health Benefits] Onion: likely to prevent high blood pressure and diabetes. Mushroom: boosts the immune system and promotes overall health. Chicken: assists in recovery from fatigue. Small portions will provide a lot of energy.

フランスパンのトマトソースの材料及びその生産国はしめじ(日本産)、玉ねぎ(トルコ産)、なす(インド産)、トマト(イラン産)、フランスパン(フランス産)である。カロリーは 275kcal、費用は一人当たり 531 円で、健康への影響はトマトには抗酸化作用による癌予防の効果がある。

Mushrooms (from Japan), onions (from Turkey), Eggplant (from India), tomato (from Iran), bread (from France)

274 kcal 895 yen (per person)

[Health Benefits] Tomato: full of antioxidants which can prevent cancer.

(5)洋菓子はチョコマカロンとする。

材料及びその生産国はアーモンド(アメリカ産)、カカオ豆(コートジボワール産)、卵(米国産)、薄力粉(フランス産)である。カロリーは 450kcal、費用は一人当たり 373 円で、健康への影響はチョコレートには精神的・肉体的に活動的になる効果があり、アーモンドは骨粗しょう症予防になる。

Sugar (from Brazil), almonds (from USA), cocoa beans (from Côte d'Ivoire), eggs (from USA)

450kcal 373 yen (per person)

[Health Benefits] Chocolate: promotes mental and physical health. Almond: prevents osteoporosis.

(6)飲み物は天然水、紅茶、コーヒー、ワインのいずれかから選択可能である。

各飲料の生産国は天然水「カナダ産」紅茶「ベネズエラ産」コーヒー「コロンビア産」である。

You can choose a drink from either natural water (from Canada), tea (from Venezuela), coffee (from Colombia) or wine (from France).

料理の合計カロリー及び費用は以下のようにになっている。

フランスパンのチキングラタンを選択した場合のカロリーは 1468kcal、費用は 2392 円

フランスパンのトマトソースを選択した場合のカロリーは 1192kcal、費用は 2460 円

以上の食材を使用することによって諸生産国の農産物が広く認知され、今後の各国の農産物における経済発展に繋がる。

国連弁当の中身を入れる食器は以下の通りとする。

(1)輪島塗(日本産)

今後の世界の農産物におけるの発展と食の安全問題の解決を実現するために、上記の国連弁当を採用すべきである。

各料理における材料の詳細なカロリー及び費用は以下の通りである。

スープ	かぼちゃ	玉ねぎ	豆乳	パセリ		計
カロリー(kcal)	88	8	35	2		133
費用(円)	70	40	75	9		194

スープ	かぼちゃ	玉ねぎ	豆乳	パセリ		計
カロリー(kcal)	88	8	35	2		133
費用(円)	70	40	75	9		194

魚料理	マグロ	アボカド	わさび・醤油	オリーブオイル		計
カロリー(kcal)	87	31	6	59		183
費用(円)	543	151	203	15		912

チキングラタン	鶏肉	しめじ	乳製品	玉ねぎ	フランスパン	計
カロリー(kcal)	40	2	253	143	113	551
費用(円)	135	32	147	66	83	463

トマトソース	しめじ	玉ねぎ	なす	トマト	フランスパン	計
カロリー(kcal)	2	143	5	12	113	275
費用(円)	32	66	110	240	83	531

⑤ PESTゼミ Societal (社会学的分野)

【意義・ねらい】

- ・ディスカッション、プレゼンテーションに慣れる。
- ・エクセルを用いた情報処理を行う。
- ・論理的思考力を養う。
- ・失敗をする。

社会学のゼミということで、社会が人間をいかに規定しているか、つまり、人間が無意識のうちにどれほど社会から影響を与えられているか、を考えさせることを意図した。

日々目にする機会の多いアンケート調査であるが、それを作成するためには様々な角度からの論理的思考が必要である。自分達が立証すべき仮説を立て、それを証明するための論理展開を考え、そのための論拠をアンケート結果に求めることが出来るように、各アンケート項目を設定していかねばならない。演習を通じて、アンケート調査というもの自体が有意図的なものであるということを体感させ、社会には様々な思惑に満ちていることも考えさせたかった。

なお、当初は具体的な内容（「A型はまじめだ」という説が人に与える影響は？」等）を与える予定であったが、生徒から「自分たちで設定してみたい」という要望が出たこともあり、任せることにした。



【授業の流れ】

1回目	社会学についての説明
2回目	命題・仮説の設定 課題：「当たり前だと思われている命題がどう人に影響を与えているか」
3回目	ディスカッションを通して、アンケート項目の作成
4回目	
5回目	アンケート結果の入力・分析 → 仮説の検証
6回目	
7回目	発表

【生徒の感想】

Sは内容がとても難しく、今まで毎回苦戦してきました。発表の準備もテスト前ということもあり時間があまり取れず、十分にやってきたことを発揮できなかったのが悔しかったです。また他の班の発表を見て、プレゼンの仕方もまた勉強できたので、これからに生かしていきたいと思いました。

私達の班は外見が内面にどう影響を与えるかという話について考えてきました。結果だけ言えば、正直失敗だなと思います。アンケートの内容はもっと練ることが出来たと思うし、仮説と結びつけるのは難しいだろうと判断して使わなかったアンケートの集計結果もたくさんありました。時間が足りなかったというのがありますが、もう少し上手く話を持っていくことが出来たんじゃないかなと思います。仮説が正しいか正しくないかを検証するというもとの目的からも少し逸れてしまっていました。次回以降は目的をしっかりと認識して、もっと力を尽くしたいと思います。

今回は1学期の最後の授業で班で考えた事を発表しました。発表内容にはある程度満足できましたが、面白さと時間短縮が大きな課題だと痛感しました。またツッコミを入れられるところがあったと思うので、そのへんも詰めていきたいです。班の皆と一緒に一生懸命アンケート実施、考察をして得た物は自分にとってよいものになりました。楽しかったです。

【講評】

《良かった点》

- ・生徒の取り組む姿勢は素晴らしかった。
- ・パワーポイントの使用など、教えていない技術もどんどん活用するようになった。
- ・満足できる発表を出来る班が無かったという意味では、しっかりと失敗経験を積むことが出来た。

《反省点》

- ・議論、分析、検証、全ての段階において時間が不足していた。
- ・論理的な思考を固めきれないままにアンケート実施に踏み切ったため、各発表についても論理的なものとはならなかった。パワーポイントを用いての小手先のプレゼンテーション技術に頼ることとなってしまったのは、残念である。



⑥ Global English (グローバル・イングリッシュ)

【意義・ねらい】

- ・ 英語によるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を身に付ける。
- ・ 正確で、分かり易い英文を書く力を身に付ける。
- ・ 日本文化に対する理解を深める。

【授業の概要】

(授業構成)

- ・ 1 学期の授業回数は 3 回。
- ・ 1 クラス (40 名) を 20 名ずつのグループに分けて授業を行う。
- ・ 20 名のグループに対し、日本人教員 1 名と外国人教員 1 名が指導にあたる。
- ・ 授業はすべて英語で行い、生徒同士も原則として英語で会話を行う。

(活動内容)

1. 日本のことをあまり知らない外国の高校生を対象に、日本文化に関するトピックを何か 1 つ選び、紹介を行うという想定のもと活動を行う。
2. 最初の授業までに紹介文を作成し、提出する。
3. 20 名を 5 つのグループに分け、個人が考えてきた 20 種類の日本文化紹介文 (100 語程度) の中から、各グループで最も良いと思われる 3 編の紹介文を選び、それを他のグループの前で、選んだ理由とともに発表する。
4. 20 名全体の活動として、各グループから選ばれた約 10 編の紹介文 (重複していたものもあったため) の中から、最も良いと思われる紹介文を 5 つ決定する。
5. グループごとに 1 つ紹介文の担当を決め、自分たちの担当した紹介文について、さらに磨きをかけた紹介文 (300 語程度) を作成する。
6. 作成した紹介文を最後の授業までに暗記する。
7. 1 クラス (40 名) が一堂に会し、当日各グループから抽選により選ばれた代表者が発表を行う。他の生徒は、それぞれの発表に対する評価を行う。

【授業の流れ】

授業外活動	各生徒が紹介文を作成し、提出。
1 時間目	5 グループに分かれ、各グループで 20 の紹介文から 3 つのベスト紹介文を選出する。その後、選んだ紹介文をその理由とともに発表する。
2 時間目	各グループにより選ばれた紹介文 (約 10 編) から、さらに 5 つに絞る。その後、各グループの担当を決定する。
授業外活動	担当した紹介文をさらに分かり易く改善し、完成した紹介文を暗記する。
3 時間目	1 クラス (40 名) が集まり、各グループ代表が紹介文の発表を行う。

【生徒の感想】

(1 時間目の授業後)

初めての GE の授業でしたが英語のみで会話したり、限られた時間で自分たちの意見をまとめたりするなど、結構大変だった。また今回、人の意見を聞いてばかりだったので、次はもっと積極的に自分の意見をアピールしていきたい。

(2時間目の授業後)

今回も思ったのは、やはり英語で議論することとはとても難しいということだ。まず言われている内容を理解しなければどうしようもない。自分の班または自分自身だけでなく、他人にまで迷惑をかけてしまう。分からない場合は流さず、毎回質問しようと思う。また、前回の反省から、次は失敗を恐れず発言していくという目標を立て実践してみると、先生に言いたいことが通じた上、どう表現したらいいかということが分かった。



(3時間目の授業後)

今日は各班で作ってきた日本文化の紹介文の発表でした。ランダムで班員の人が当てられて前に立ち、発表をしました。中には自分からやりたいと先生に言って発表している人もいました。私はそこまで出来るような自信も勇気もありませんでした。自分から前に立てる人は素直に尊敬できると思います。先生が言っていた通りに今後練習・経験をたくさんして、自分から動ける人間になりたいと思います。



【講評】

(良かった点)

- ・生徒が自分たちの英語力不足を痛感できた。
- ・意思疎通をするのに、完璧な英語を話す必要はないということが理解できた。
- ・発表をする際、聞き手を中心に考えて行うことが重要であると認識できた。
- ・日本文化についての知識を深めることができた。

(反省点)

- ・授業時間数が少なかったこともあり、授業外での活動が多く、生徒にとって負担が大きかった。
- ・最後の授業時に、暗記をきちんとできていない発表が多かったのは残念であった。
(但し、暗記のために与えた期間が短かったのは我々教員の反省点である。)

3. 今後の事業展開について

① 今年度後半の予定

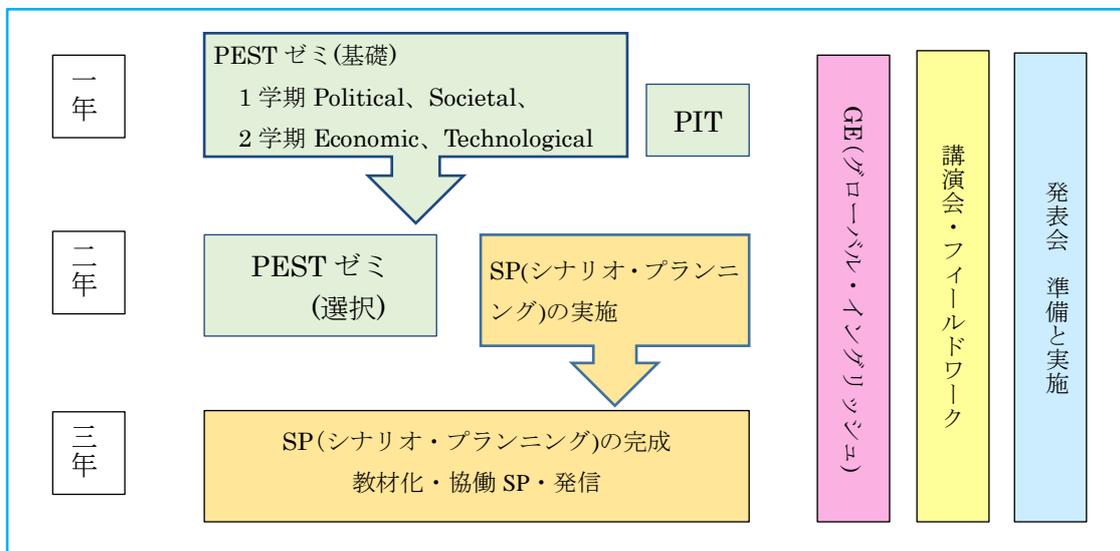
- 『PEST ゼミ (基礎)』: Economic と Technological
- 『GE』: 引き続きの取り組み
- 『PIT』: 新規の取り組み
- 『フィールドワーク』: 3月に国内外での活動を予定
 - 《国内》産業技術総合研究所(AIST)・宇宙航空開発研究機構(JAXA)・筑波大学
 - 《海外》マレーシア・シンガポール・フィリピン

② 来年度の予定

- 1年次生 今年度の活動を踏襲
- 2年次生 『SP』: シナリオ・プランニングの取り組みを開始
 - 『PEST ゼミ』: 4分野から生徒が選択して実施
 - 『GE』: 2年目の取り組み
 - 『研修旅行』: タイ研修旅行 (修学旅行に相当)
 - 『フィールドワーク』: 国内外での活動を予定 (連携先数の増加)

③ 今後の予定

- 1・2年次生 今年度・来年度の活動を踏襲
- 3年次生 『PEST ゼミ』『GE』『PIT』『フィールドワーク』などの取り組みを統合し、「生徒によるシナリ・オプランニング (SP) を用いた未来予測」を実施し、論文作成を行うとともに、学習教材としての体系化と普及・ネットワークの構築を図る。なお、外部のホールを使用して、研究発表会を開催する。



運営指導委員・連携先一覧

① 運営指導委員一覧（敬称略）

小谷 泰造	株式会社インターグループ取締役会長
佐野 慶子	高石市教育委員会委員長
中村 松市	株式会社パイン キャピタル（シンガポール）グループ代表
横山 直樹	富士通研究所フェロー

② 連携先一覧

京都大学・大阪大学・関西学院大学・立命館大学
昭和シェル石油株式会社
大阪府高石市・滋賀県琵琶湖環境部
産業技術総合研究所（AIST）・宇宙航空研究開発機構（JAXA）
Brisbane Grammar School・Universiti Teknologi Malaysia・ Colegio de San Juan de Letran



清風南海学園 中学校・高等学校

Tel 072-261-7761

Fax 072-265-1762

<http://www.seifunankai.ac.jp/>